

平成29年12月4日

箕輪町議会議長 木村英雄様

箕輪町議会総務産業常任委員会  
委員長 中澤清明



箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	総務産業常任委員会研修視察
研修の期間	平成29年11月15日（水）から17日（金）
研修の場所	京都府南山城村、和歌山県有田市(株)総和果樹園、兵庫県上郡町
成果 (具体的に)	<p>○南山城村</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・移住定住対策、空き家バンク事業</li></ul> <p>急激な人口減少、高齢化の進行に直面した村が空き家バンクの制度化、移住定住交流拠点の整備、推進員の配置など積極的に移住定住を進めている様子とその成果や課題等を学ぶことが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」</li></ul> <p>事業費7億強の全てを地方創生加速化交付金等の国補助を受け、4月にオープン、開業4ヶ月で当初年間目標の10万人を大きく上回る22万人の入場者があったという成功例の道の駅について、取り組みの経過、現状について聞くことが出来た。</p> <p>○(株)総和果樹園</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・みかんの栽培、6次産業化を通じ、地域の雇用の創出、地域農家の所得向上に大きく寄与貢献している状況を知ることが出来た。</li></ul> <p>○上郡町</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定住促進助成、移住体験、空き家体験ツアーなど様々な定住施策について学ぶことが出来た。</li><li>・地方創生の魚類養殖事業の中止になった経緯を知ることが出来た（別紙に感想など）</li></ul>
委員会名	総務産業常任委員会
派遣議員名	中澤清明、伊藤隆、下原甲子人、小島常男、浦野正雄、荻原省三

以上

(別紙) 各委員の感想など

○南山城村移住定住、空き家バンク事業

- ・木造校舎を使用してモノづくりの拠点とした取り組みは評価できる
- ・移住交流スペース「やまんなか」は集まれる場所になっており、推進員が常駐し、相談の場ともなっていてよい
- ・住宅の改装を体験できる「空き家リノベーションプロジェクト」はユニークな考え方で面白い
- ・職人を講師に住宅改修技術を学ぶ「空き家リノベーションプロジェクト」は有料にもかかわらず、若い女性を中心に多くの参加者があったとのこと。田舎に若い女性を呼び込む一方策として使えるかも知れない

○道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」

- ・京阪神と中京圏を結ぶ幹線道路沿いに位置すること、村内にスーパー・コンビニがないこと、広い駐車場があることなどが成功の一因と考えられる
- ・道の駅整備で新たな産業と雇用を生み出している。2か月で10万人はすごい
- ・(株)みなみやましろが運営し、社長はこの計画に当初からかかわった役場職員が、早期退職して就任、社長の経営方針が全従業員に徹底されているのも成功の一因
- ・オープンしたばかりだが、当初見込みを大きく上回っており、期待できそう。

○(株)総和果樹園

- ・会長のみかん農業についてのこだわり、加工を採り入れたことが素晴らしい
- ・考えることは簡単だが実行となると腰が引ける 何か始めなければ何も始まらない これからの農業はこういうことなのだと感じた
- ・みかん一筋の考えから、製品開発、販路開拓(外国にも)、人材育成など最先端を自分たちの力で進めてきて、新卒者の入社や女性の活躍の場もあり、取締役会長の説明は自信にあふれていた 将来を見据えた斬新な経営感覚を感じた
- ・経営理念「農を核としたビジネスの展開・品質向上に努め、安全・安心・健康・満足を提供する たゆまぬ努力と研鑽を続け、企業活動を通じて地域に積極的に貢献する」、味へのこだわり「出来たみかんじゃダメ、作ったみかんじゃないと」、商品開発理念「メーカーは新商品が出せなくなったら終わり」を貫いた取り組みの数々が大変勉強になった
- ・近隣のみかん農家やJA共撰からも高値でみかんを買い取り、農家の所得向上に貢献している
- ・67人の正社員をを雇用し、繁忙期には70人ほどを臨時雇用し、雇用創出面での地域貢献は大きい

○上郡町

- ・各種の幅広い定住対策により、未来は暗くないのではと感じた
- ・空き家見学ツアーは近隣市町村と連携し、広域的に取り組んでいてよかった
- ・移住者の会の活動は移住希望者への相談活動も行っており、良いことと思う
- ・廃校活用による地方創生モデル事業は事業者の倒産により廃止となったが、計画通りに進めば雇用の創出、荒廃農地の活用につながると思えた